

FirstGlobal メッセージ

siesta

2014.12月号 vol.139

*シエスタとは、スペイン語で『昼寝』の意味です。
リラックスしながらお読み下さい。

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

りんごかもしれない

今回は「りんごかもしれない」（ヨシタケシンスケ著、ブロンズ新社）という絵本のご紹介です。絵本といっても侮ることなかれ、昨年の4月に発行され、「MOE絵本屋さん大賞2013」も受賞し、現在まで14.5万部売れて、今も毎月1万部以上増刷されているそうです。小さいお子さんのいらっしゃる方は、もしかしたらご存知かもしれません。ある小学校では、図画工作の授業でも本書を題材にしているとのこと。ひとつのりんごをめぐる次から次へと繰り広げられる不思議でユニークな世界。

ある日、少年が学校から帰ると、テーブルの上にひとつのりんごが置いてありました。その少年はりんごを見て、もしかして「これは りんごじゃないかもしれない」と思えてきて、少年の「もしかしたら」の想像がどこまでも広がっていきます。

このりんごは「ほんとうは ほかのものに なりたかったのかもしれない。」「ところが あるかもしれない。」「じつは かみのけとか ぼうしが ほしいのかもしれない。」「ぼくからみえない はんたいがわはミカンかもしれない。」

ふつうの絵本ですが、オトナでも考えさせられて、思わずクスッとしてしまう一冊です。また様々な示唆も見とれます。いわゆるオトナの感覚では、日頃このような「ものの見方」ができなくなっていますか？自分の場合、いつからそうなってしまったのか？「常識」と思っていることを何も疑うことなく、自分の今までの経験の中でできあがった「価値観」でものごとを決め付けていないか？と問いかけられるストーリーでした。そういう意味でとっても深〜いお話です。

苦しんでいることや嫌な思いって「もしかしたら〇〇かもしれない」と言ってみれば、少し楽になるかもしれない。これを読んだ後は、「かもしれない」と口ぐせになってしまう「かもしれない」。次回は、同じシリーズでこれも評判の「ぼくのニセモノをつくるには」をご紹介します。

< next >

プロ野球は日本シリーズの前にドラフト会議が終わりましたが、東北楽天は一位指名選手で三年連続競合の末、三年連続当たりクジを引きました。毎年「当たり」を引く楽天の立花社長のクジ運の強さはどこからくるのか？羨ましい限りです。